

2024年度

西深津王子 1 号線

福山市王子町二丁目及び東深津町五丁目地内

道路転落事故防止工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=127.2m 転落防止柵設置工 L=116m 管理用出入口 N=9箇所	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路転落事故防止工事（西深津王子1号線）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- 「令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書の1-1-1-26 週休二日の対応」は本工事においては適用しない

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。
- ・受注者は、街路樹を植樹する近隣の地権者に街路樹を植樹する位置等の説明を行い、承諾を得ること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 現場代理人の常駐義務の緩和

現場代理人の工事現場への常駐義務緩和については、一定の要件を満たすと発注者が認める場合（※）とします。

（※）一定の要件を満たすと発注者が認める場合とは発注者との連絡体制を確保した上で、次のアからエのいずれかの条件に該当する場合です。

（必要に応じ、工事打合せ簿で協議により承諾を受けていること。）

ア 現場作業着手前までの期間

イ 工事の施工が一定期間、全面的に行われていない期間

ウ 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

エ 工事現場が完了した後、竣工検査までの期間

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいます。

第2章 施工条件

第1節 工事支障物件

- ・調査項目：水道、ガス配管位置確認
- ・調査時期：工事施工前に必要に応じて試掘を行うこと。
- ・移設期間：工事期間中
- ・提出書類：受注者は、工事着手に先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物の調査を行い、施工による不測の事態に対処するため、必要に応じて各管理者（水道管の場合は監督員）に誓約書を提出すること。

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

- 1 建設廃棄物処理計画書
 - ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
 - ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
 - ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
 - ・各処分場の現地確認写真
 - ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し
 - 2 再生資源利用計画書
 - 3 再生資源利用促進計画書
- (2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。
- 1 再生資源利用実施書
 - 2 再生資源利用促進実施書
 - 3 建設廃棄物処理実施書
 - ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
 - ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第5節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
 - ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
 - ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。の受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
 - ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

「第20 回世界バラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿ったものとし、別紙のいずれかのデザインとする。
 - ・「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
 - ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
 - ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
 - ・ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。
- （デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-06.12.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路維持					Y1G01 レベル1
防護柵工	1	式			Y1G0105 レベル2
防止柵工	1	式			Y1G010502 レベル3
転落(横断)防止柵 【柵高,作業区分】	1	式			Y1G01050205 レベル4
横断・転落防止柵 コンクリート建込 ビーム式・パネル式 [規]100m以上 転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色	116	m			SS000145 00 単第0 -0001 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径90mm以上100mm未満 削孔深さ200mm以上400mm未満	70	孔			SPK24040120 00 単第0 -0002 表
転落防止柵 袖 4段ビーム用 L=500	4	箇所			F0000000003 00
管理用出入口 W=1.0m	9	箇所			V0002 00 単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1G0124 レベル2
	1	式			
運搬処理工					Y1G012416 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】					Y1G01241601 レベル4
		m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)					SPK24040151 00
	0.09	m3			単第0 -0004 表
殻処分 【殻種別】					Y1G01241602 レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入					T9005 00
	0.2	t			
仮設工					Y1G0126 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1G012621 レベル3
	1	式			

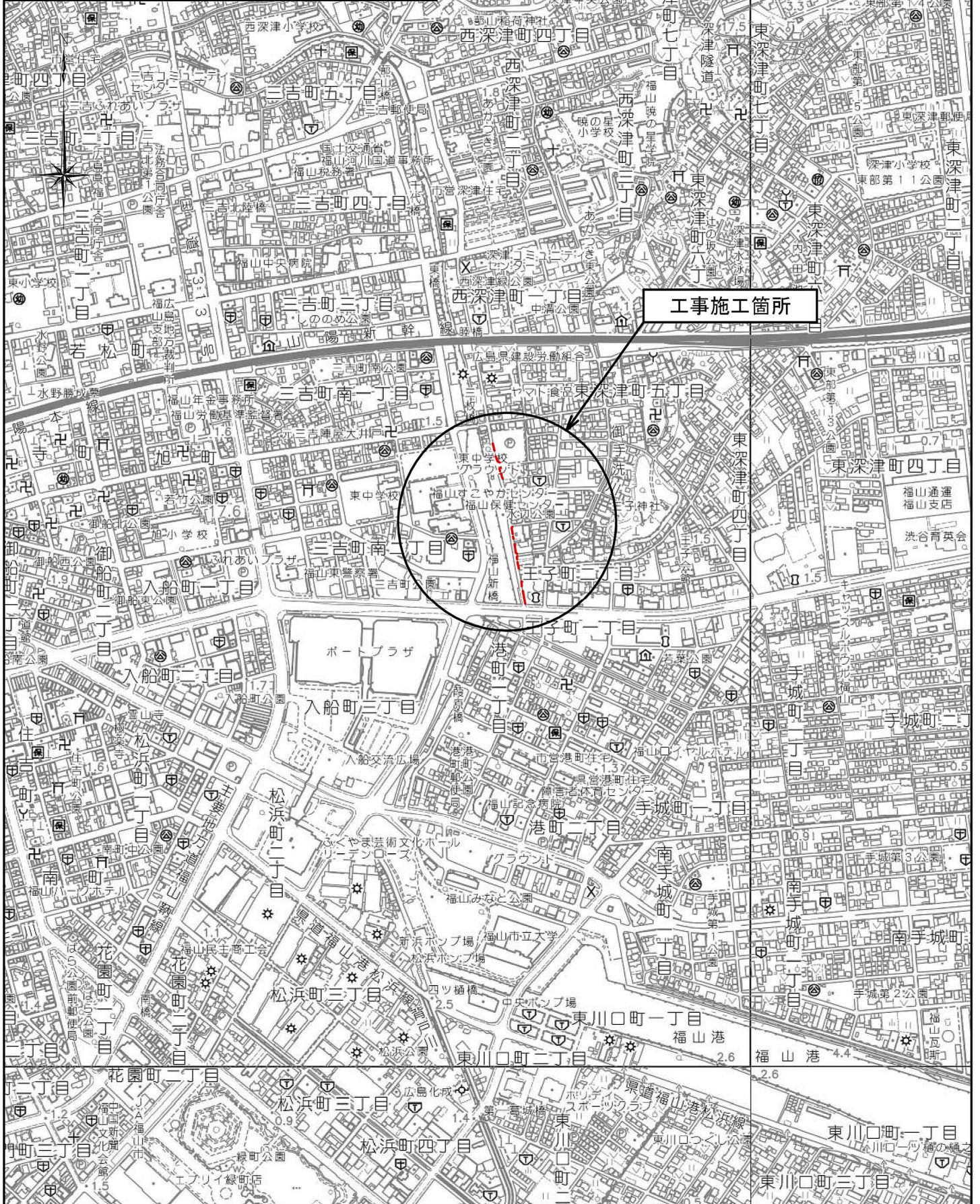
本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1G01262101レベル4
交通誘導警備員B		人			R0369 00
	18	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

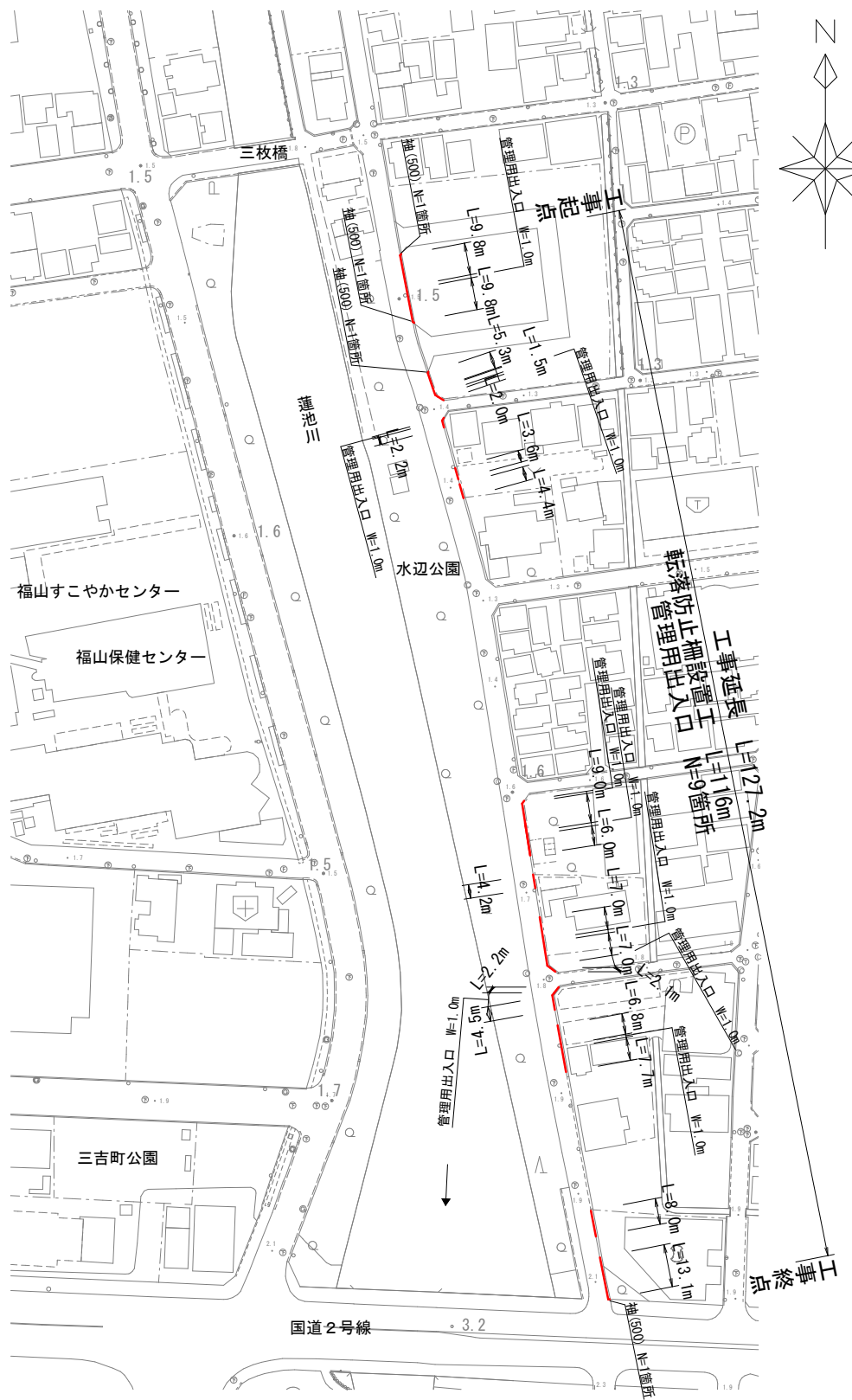
図面番号	1 / 2	縮 尺	S=1:10,000
工 種	道路転落事故防止工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	西深津王子1号線		
工事箇所	福山市王子町二丁目及び東深津町五丁目地内		
福 山 市			



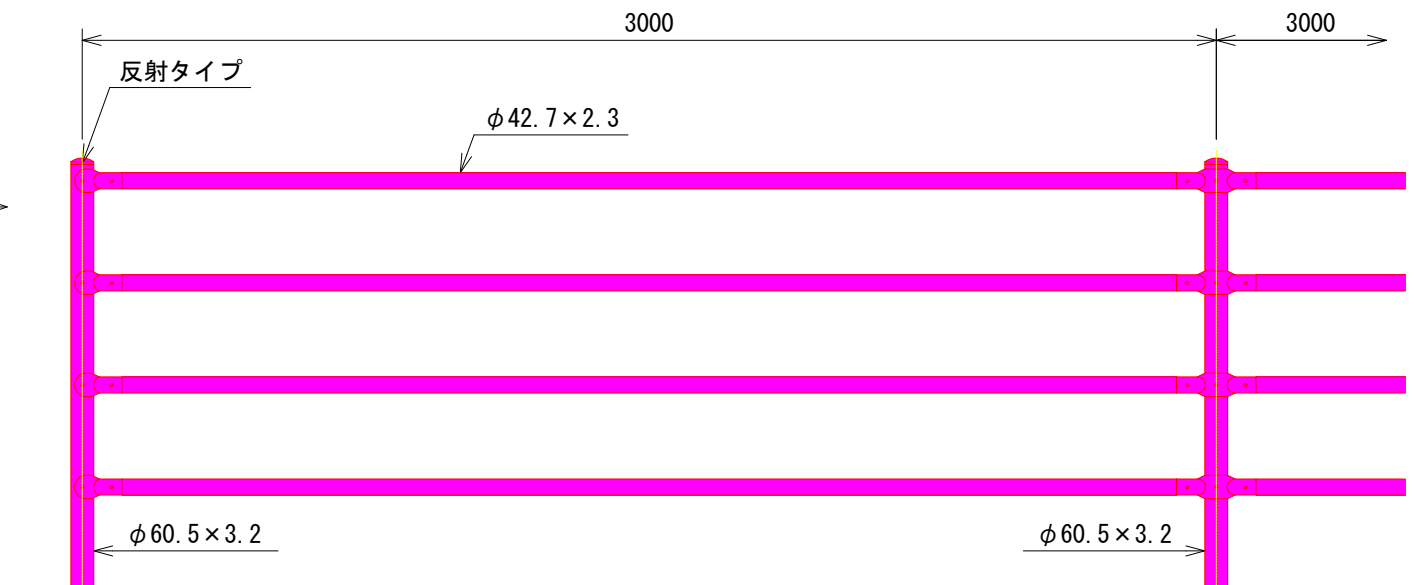
図面番号	2 / 2	縮尺	図示
工種	道路転落事故防止工事		
種別	各種図面		
路線名	西深津王子1号線		
工事箇所	福山市王子町二丁目及び東深津町五丁目地内		
福山市			

転落防止柵詳細図 S=1:20

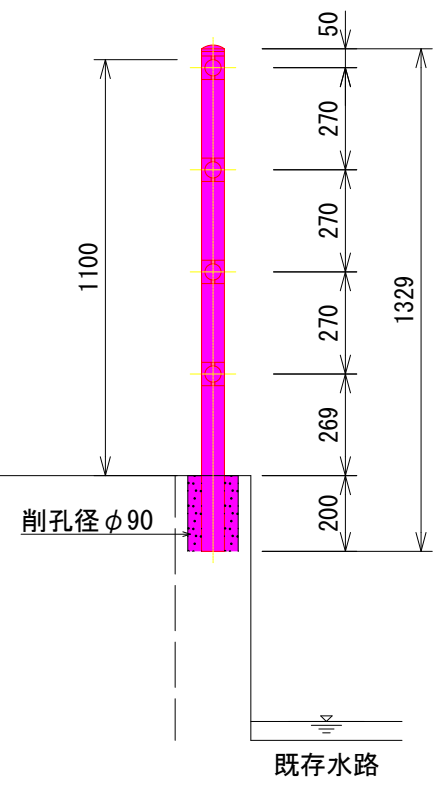
平面図 S=1:2000



転落防止柵(P種)



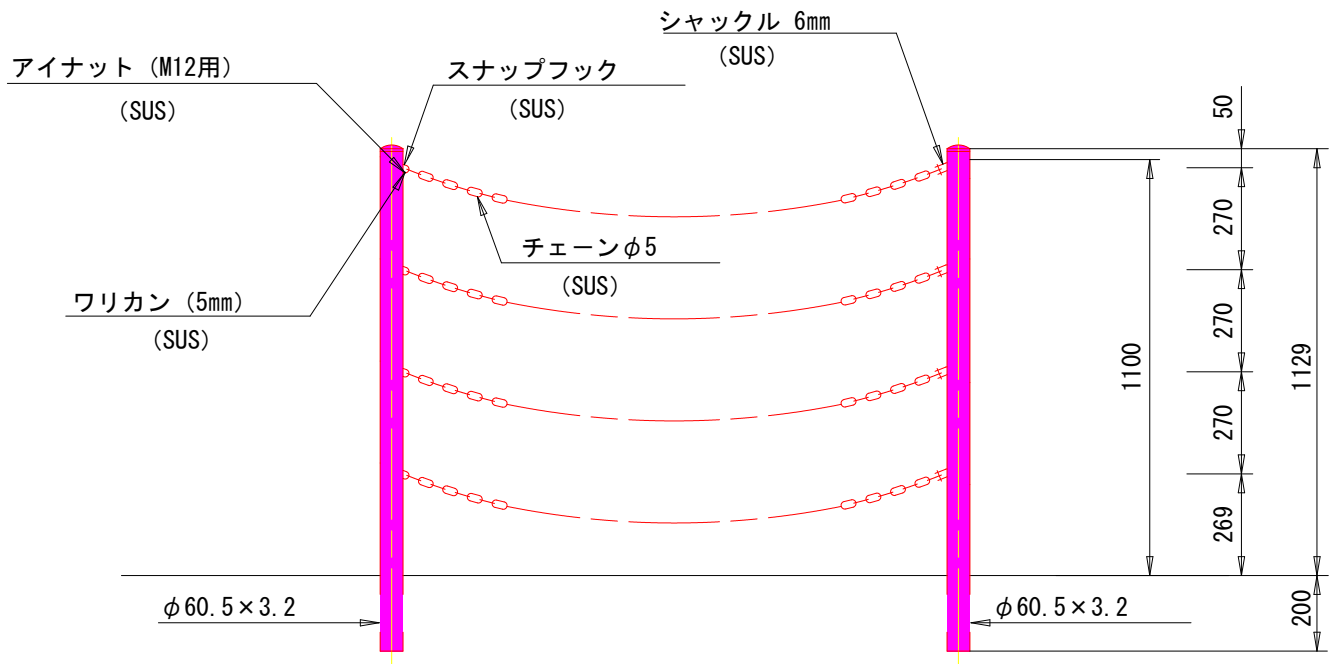
コンクリート建込用(W)



設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

備考
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル樹脂静電粉体塗装とする。但し、ボルト・ナット類は溶融亜鉛めっきのみとする。

管理用出入口



設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。(チェーン部は除く)

種別	単位	数量	1箇所当り (1.0m)
アイナット (ステンレス製)	個	8	
スナップフック (ステンレス製)	個	4	
ワリカン (ステンレス製)	個	4	
シャックル (ステンレス製)	個	4	
ステンレスチェーン	m	4.0	

参 考 图 书

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK24040120

単第0 -0002 表

削孔径90mm以上100mm未満

削孔深さ200mm以上400mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 3.16% 労務構成比: 64.69%

材料構成比: 32.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,686.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm	1.66%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.98%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	38.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.18%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径110.0mm,一般用 コンクリート削孔用	28.95%		ダイヤモンドビット 110mm		TTPC00235 TTPT00235
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0004 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,757.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

計第1表	数量計算表					
工事延長	転落防止柵	削孔 (φ90)		袖(500)	管理用出入口 W=1.0m	備考
	延長	計算式	孔	箇所	箇所	
0.5				1		工事起点
9.8	9.8	$9.8 \div 3.0 + 1 = 4.3$	5			
1.0					1	
9.8	9.8	$9.8 \div 3.0 + 1 = 4.3$	5			
0.5				1		
0.5				1		
5.3	5.3	$5.3 \div 3.0 + 1 = 2.8$	3			
1.5	1.5	$1.5 \div 3.0 + 1 = 1.5$	2			
1.0					1	
2.0	2.0	$2.0 \div 3.0 + 1 = 1.7$	2			
1.0			1		1	管理用出入口 端部削孔
2.2	2.2	$2.2 \div 3.0 + 1 = 1.7$	2			
3.6	3.6	$3.6 \div 3.0 + 1 = 2.2$	3			
4.4	4.4	$4.4 \div 3.0 + 1 = 2.5$	3			
1.0			1		1	管理用出入口 端部削孔
9.0	9.0	$9.0 \div 3.0 + 1 = 4.0$	4			
1.0					1	
6.0	6.0	$6.0 \div 3.0 + 1 = 3.0$	3			
4.2	4.2	$4.2 \div 3.0 + 1 = 2.4$	3			
7.0	7.0	$7.0 \div 3.0 + 1 = 3.3$	4			
1.0					1	
7.0	7.0	$7.0 \div 3.0 + 1 = 3.3$	4			
1.0					1	
2.1	2.1	$2.1 \div 3.0 + 1 = 1.7$	2			
2.2	2.2	$2.2 \div 3.0 + 1 = 1.7$	2			
1.0					1	
4.5	4.5	$4.5 \div 3.0 + 1 = 2.5$	3			
6.8	6.8	$6.8 \div 3.0 + 1 = 3.3$	4			
1.0					1	
7.7	7.7	$7.7 \div 3.0 + 1 = 3.6$	4			
8.0	8.0	$8.0 \div 3.0 + 1 = 3.7$	4			
13.1	13.1	$13.1 \div 3.0 + 1 = 5.4$	6			
0.5				1		工事終点
						コンクリート殻(削孔)
合計						0.09*2.35=
127.2	116.2		70	4	9	0.2t